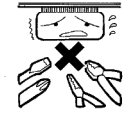
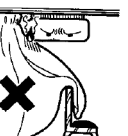
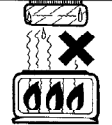


照明器具ご使用についての安全上のご注意

警告

	感電のおそれがあります ◇ランプの交換や、器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。	
	感電・火災のおそれがあります ◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする時）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。	
	感電・火災のおそれがあります ◇器具及び部品の改造をしないでください。 ◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。	 
	やけどのおそれがあります ◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。	
	火災のおそれがあります ◇器具に表示されている以外のランプを使用しないでください。 ◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。 又カーテン・揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。 ◇断熱材・防音材でおおわないでください。	

注意

◇器具の保守・お手入れ等で、無理に器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。 器具の落下によるけがの原因 となることがあります。 ◇反射鏡の着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。 落下によるけがの原因 となることがあります。 ◇明るく安全に使用していただくために、 器具を定期的に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検 してください。 器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。 ◇器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。 感電や火災の原因 となることがあります。 ◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。 器具の変形や火災の原因 となることがあります。 ◇点灯中及び、消灯後はランプにさわらないでください。 やけどの原因 となります。	 
--	---



商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

ヤマギワ リビナ本館 東京営業部	〒101-0021 東京都千代田区外神田1丁目5番10号 TEL(03)3253-5111(代表)	近畿営業部	〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2丁目9番8号 TEL(06)6258-6721(代表)
外商営業本部	〒101-0021 東京都千代田区外神田1丁目5番10号 TEL(03)3253-5143(代表)	金沢営業所	〒920-0901 石川県金沢市彦三町2丁目1番45号 TEL(076)222-6733(代表)
札幌営業所	〒060-0906 北海道札幌市東区北6条東2丁目3番6号 TEL(011)742-1311(代表)	高松営業所	〒760-542-00810062 香川県高松市塩上町3丁目8番11号 TEL(0878)39-3195(代表)
仙台営業所	〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院2丁目1番61号 TEL(022)227-1251(代表)	広島営業所	〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里1丁目1番68号 TEL(082)568-5371(代表)
横浜営業所	〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町6丁目89番1号 TEL(045)664-2871(代表)	福岡営業所	〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴2丁目1番10号 TEL(092)721-5661(代表)
ヤマギワ 名古屋 名古屋営業所	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵1丁目22番20号 TEL(052)931-2111(代表)	宇都宮出張所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷6丁目7番16号 TEL(028)638-1002
		静岡出張所	〒420-0072 静岡県静岡市葵区二番町7番6号 TEL(054)273-5305

0401

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

取扱説明書

K. STRUCTURE-LINE

yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださいます。誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんのうえ、正しく取り付け、正しくご使用ください。
お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

●電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目次

- 1 ページ：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意
- 2 ページ：定格表，部品名称と取付方法，各部のなまえ，取付方法
- 3 ページ：取付方法続き、オプティカルディフューザーの取外しとランプ交換のしかた、保守とお手入れ
- 4 ページ：照明器具ご使用についての安全上のご注意，アフターサービス

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

警告

	火災のおそれがあります ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇電源配線は、ランプ表面にふれないように取付けてください。	
	落下によるけがのおそれがあります ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取付は、取付ける天井の強度を確認し、質量に耐えられるところに確実に行ってください。 強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。	
	感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇ランプの取付けの際には、必ず電源を切ってください。 ◇アース工事は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。	
	火災のおそれがあります ◇器具に表示されている以外のランプを取付けしないでください。	
	落下によるけがのおそれがあります ◇傾斜した天井や取付部のまわりに極端な突出部のある所に、器具を取付けしないでください。	

注意

- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと**火災の原因**となります。
- ◇取付けた器具を説明書に従わず無理に引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となります。
- ◇本体及びランプ・ディフューザーの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは、確実に行ってください。
落下によるけがの原因となります。
- ◇この器具の安定器は、調光用に対応していません。調光器を使用しないでください。
火災の原因となります。
- ◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。
屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇器具取付の際に、壁紙・クロス貼り等の接着剤等が十分乾燥してから器具を取付けてください。
メッキや塗装等の変色や、さびの原因となります。
- ◇アース工事が必要な器具は、電気設備技術基準及び内線規定にしたがってアース工事を行ってください。
感電・火災の原因となります。

お願い

気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

定格表

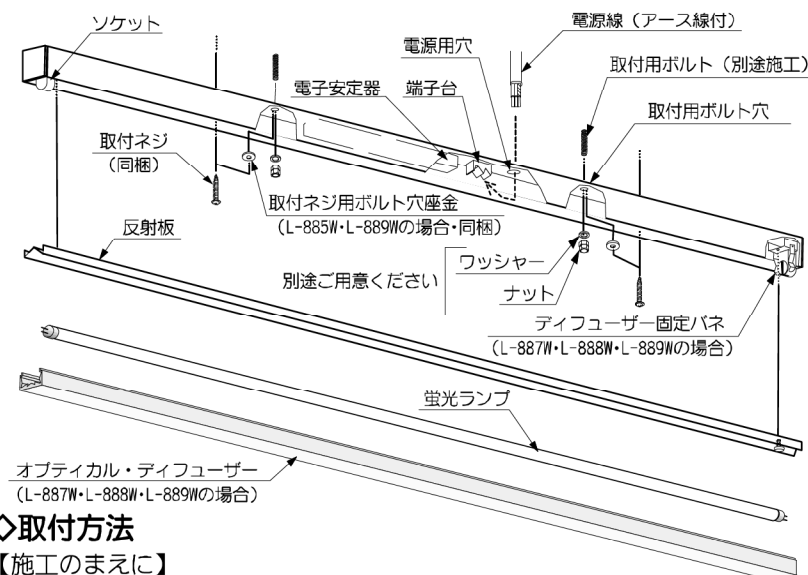
カタログ番号	型番	適合ランプ・灯数	消費電力	入力電圧 周波数	器具寸法(mm)	取付寸法	質量
L-883W	88LF-0965-1W	フィリップスG5蛍光ランプ TL5/35W HEX1	40W	100～242V 50/60Hz 共通	高さ: 55 幅: 37 長さ: 1494	ボルト間隔=800	2.4Kg
L-884W	88LF-1066-1W	フィリップスG5蛍光ランプ TL5/28W HEX1	32W		高さ: 55 幅: 37 長さ: 1194	ネジ穴間隔=900	2.0Kg
L-885W	88LF-1163-1W	フィリップスG5蛍光ランプ TL5/21W HEX1	26W		高さ: 55 幅: 37 長さ: 894	ボルト・ネジ間隔=750	1.5Kg
L-887W	88LF-1260-1W	フィリップスG5蛍光ランプ TL5/35W HEX1	40W		高さ: 55 幅: 37 長さ: 1494	ボルト間隔=800	1.9Kg
L-888W	88LF-1368-1W	フィリップスG5蛍光ランプ TL5/28W HEX1	32W		高さ: 55 幅: 37 長さ: 1194	ネジ穴間隔=900	1.6Kg
L-889W	88LF-1465-1W	フィリップスG5蛍光ランプ TL5/21W HEX1	26W		高さ: 55 幅: 37 長さ: 894	ボルト・ネジ間隔=750	1.2Kg

本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

部品名称と取付方法

◇各部のなまえ

(図は器具を省略抽象化した共通のもので。 図はL-887W)



◇取付方法

【施工のまえに】

取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにしてください。不備がありますと**器具落下の原因**となります。

①本体を取付ける

取付方法は、ボルト吊りまたは、L-883W・L-884W・L-887W・L-888Wの場合は同梱の取付用ネジで取り付けることもできます。

ボルト吊りの場合は、ボルト出し寸法通りになっているのをお確かめのうえ、(図1)にしたがって本体をナットでボルトに取付けます。

不備がありますと、**器具落下の原因**となります。

②電源線を端子台に接続する(図2)

電源線とアース線を電源用穴を通して本体内部の端子台に接続します。

アース工事は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。

不備がありますと、**感電・火災・不点灯の原因**となります。

③反射板を取り付ける(図3)

片側の反射板と補強板の間に反射板掛け金具の凸部分を差し込み、もう片側の反射板掛け金具にローレットネジを使用して、反射板を取付けてください。

不備がありますと、**部品落下の原因**となります。

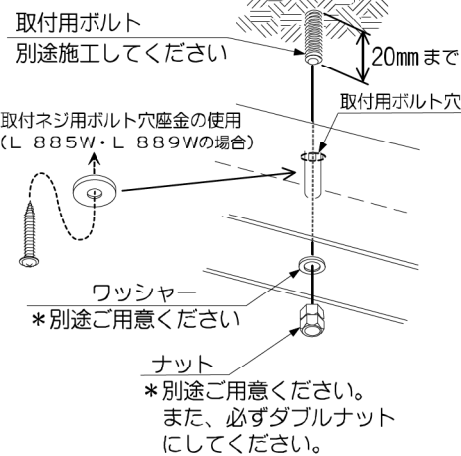
④ランプを取り付ける

3ページの「ランプ交換のしかた」を参照して、適合ランプをお確かめのうえ、蛍光ランプをソケットに挿入してください。

不備がありますと、**不点灯や落下の原因**となります。

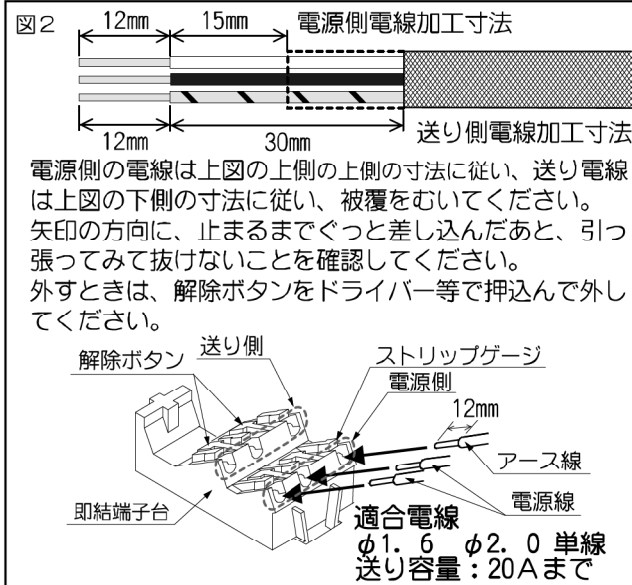
■ボルト吊りの場合のご注意(図1)

***ボルト出し寸法は20mmまでにしてください。**



■L-885WとL-889Wの場合

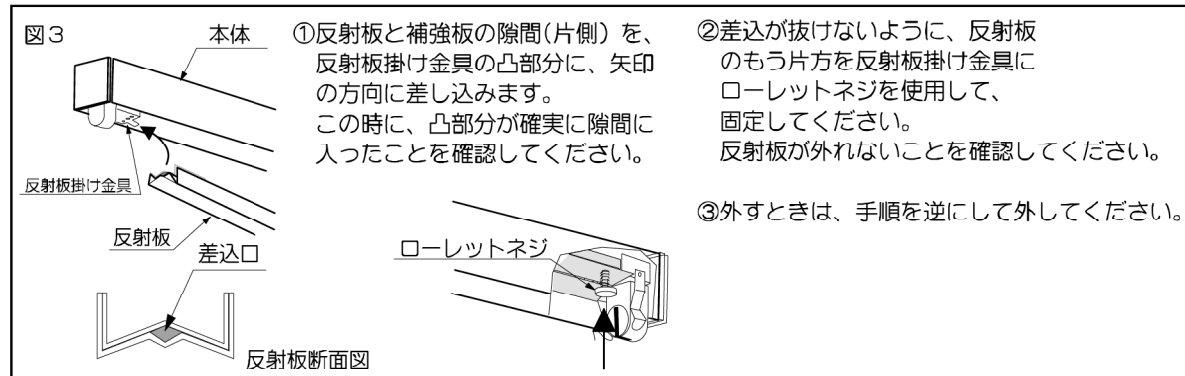
取付ネジで器具を固定したい場合には、取付用ボルト穴に「取付ネジ用ボルト穴座金」(同梱)をセットして取付ネジ(同梱)を使用することができます。(上図)



⑤オプティカル・ディフューザーを取付ける

L-887W・L-888W・L-889Wの場合は、器具両端のソケット脇のディフューザー固定パネを使用してオプティカル・ディフューザーを取付けます。

不備がありますと、**部品落下の原因**となります。



①反射板と補強板の隙間(片側)を、反射板掛け金具の凸部分に、矢印の方向に差し込みます。この時に、凸部分が確実に隙間に入ったことを確認してください。

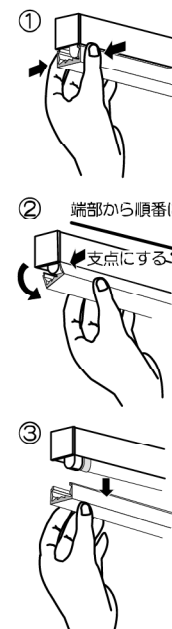
②差込が抜けないように、反射板のもう片方を反射板掛け金具にローレットネジを使用して、固定してください。反射板が外れないことを確認してください。

③外すときは、手順を逆にして外してください。

オプティカルディフューザーの取外しとランプ交換のしかた

⚠ 注意 必ず電源を切って約20分待ってから行ってください。感電・やけどの原因になります。

●L-887W・L-888W・L-889Wの場合はオプティカルディフューザーを静かに取外してから、ランプ交換してください。交換が終わりましたら、取り外したオプティカルディフューザーはもと通りに取付けます。不備がありますと、落下によるけがのおそれがあります。



①オプティカル・ディフューザーを端部から、両側を圧迫するようにしたまま外し始めます。かるく圧迫することにより、内部のパネが外れやすくなります。オプティカル・ディフューザーはアクリル製です。アクリルはもろく割れ易い素材ですので工具などで無理にこじったりしないでください。部品破損の原因になります。

②片側を支点にするような感じで、オプティカル・ディフューザーを端部から順番に外して行きます。

③オプティカル・ディフューザーを静かに外します。落下させないように、オプティカル・ディフューザーをしっかりと支えて器具から取り外してください。落下させますと部品破損のおそれがあります。

⚠ ご注意

オプティカル・ディフューザーは、アクリル製品のため、素材の膨張により音が鳴る場合がありますが、器具の故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

保守とお手入れ

⚠ 注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

●ランプが寿命になると管端が黒くなったり、点滅をくりかえします。早めにお取り替えください。

●ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。

- ・ランプがソケットに確実にはまっているか?
- ・スイッチが入っているか?
- ・ランプが切れていないか?

●低温時の点灯では、チラツキや点灯の遅れ、照度不足(光束不足)を生じることがありますが、故障ではありません。

時間の経過と共に安定器の温度やランプの温度が上昇すれば正常にもどります。

お願い

◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。

◇ガラスはこわれやすい材料です。お取扱の際には、両手で静かに行ってください。

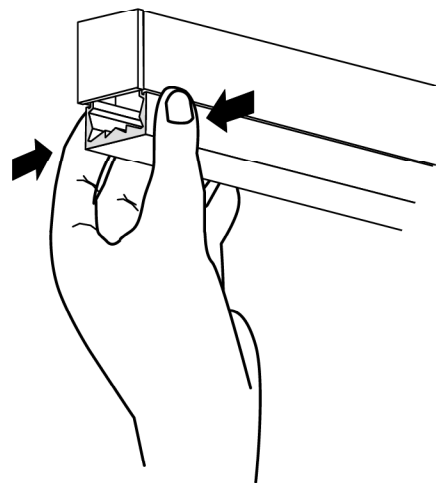
◇ぬれた手で器具に触らないでください。

◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。やけどをする場合があります。

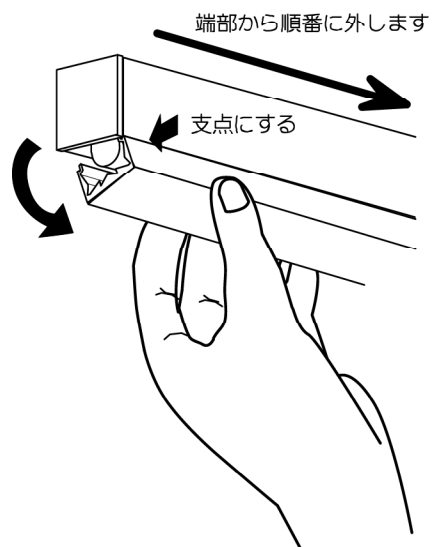


オブティカルディフューザーの取外し方

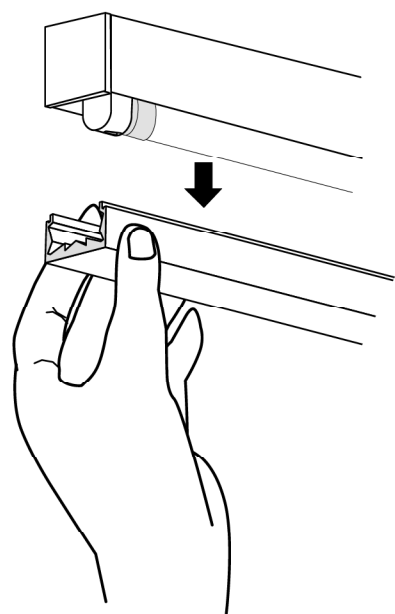
* 作業を始めるにあたって、取り扱い説明書も合わせてご覧ください。



①オブティカル・ディフューザーを端部から、両側を圧迫するようにしたまま外し始めます。
 かるく圧迫することにより、内部のバネが外れやすくなります。
 オブティカル・ディフューザーはアクリル製です。
 アクリルはもろく割れ易い素材ですので、工具などで無理にこじったりしないでください。
 部品破損の原因になります。



②片側を支点にするような感じで、オブティカル・ディフューザーを端部から順番に外して行きます。



③オブティカル・ディフューザーを静かに外します。
 落下させないように、オブティカル・ディフューザーをしっかり支えて器具から取り外してください。
 落下させますと部品破損のおそれがあります。